

門出を祝う



今年から祝日法改正で、第2月曜日が「成人の日」となった1月10日、町民会館で成人祝賀会が行われ、記念すべきミレニアム（千年紀）成人を迎えた170人をお祝いしました。

式典では、向後町長から「どんな時でも心に太陽を持って、自分の道を切り開き進んでください。若い力の漲る皆さんなら必ずできるはずですよ」と、お祝いの言葉が述べられ、成人者を代表して石井千鶴さん（宮内）に記念品が贈られました。また、4人の成人者から「成人の日を迎えて」と題した20歳の決意が発表されました。（下段に掲載。内容については要約させていただきます）
最後に花澤清隆さん（篠本二区）から成人者代表としてお礼の言葉が述べられました。

その後の懇談会では恩師を囲んで近況報告をしたり、久しぶりに会った友達との楽しい会話に花を咲かせていました。

私の夢



増島涼子さん
(篠本三区)

私には夢があります。劇団を作ることです。高校の部活で演劇を始めた私は、その世界にとってもはまってしまいました。一つの伝えたいことに対して、笑いあり涙ありの演劇の世界は、とてもすばらしい

いと考えています。
自分の進んできた道にはこだわらず、これからも進むべき道をじっくり着実に歩んで行きたいと思っています。こんなとてもマイペースな私ですが、家族や友人、そして私を取り巻く皆様方にも支えられています。心より感謝申し上げます。これからもご支援の程よろしくお願い致します。

『最善努力』をモットーに



岩澤康裕さん
(芝)

私は、10月30日から11月5日までの1週間救援ボランティア隊として台湾に行ってきました。海外ボランティアの経験は無く不安でしたが、被災地の皆さんには多少なりともお役に立てたと思います。現地では言葉の壁がありました。それが、それを乗り越えわずかな

がら異文化交流をすることもできました。
来月から自分はアメリカのワシントン州にある大学に半年間留学します。日本人のクラスではなく、普通のクラスに入り、肌でアメリカを感じ、アメリカの大学の授業からたくさんのお話を学んでくるつもりです。「最善努力」をモットーに、国際感覚を高め、自分の視野を大きく広げ、有意義な留学となるようにしたいと考えています。